

【特集】

第31回 通常総代会

- ◎組合長あいさつ
- ◎総代会報告
- ◎組合員表彰
- ◎第31回通常総代会提出議案に関するご質問・ご意見等の回答
- ◎新入職員の紹介
- ◎令和元年度福岡県花き品評会 受賞者報告
- ◎組合員資格のご確認と異動手続きのお願い

特集

第31回 通常総代会

組合長あいさつ

第31回通常総代会開催にあたり「一言ご挨拶」を申し上げます。

今回の総代会につきましては、例年とは全く違った形で開催となっております。新型コロナウイルス感染症における影響が色々と出てきているところであり、今回の総代会開催についても、感染防止対策として、福岡県内においてはJA福岡中央会よりの指導として「書面決議」を中心とした開催を強く推奨されるとともに、可能な限り最小限の参加者で、また、短時間での開催もお願いされ、今回このような対応としたところであります。

このような状況から、今年も「地区別座談会」も中止と致しました。広く組合員皆様からのご意見を頂戴するという意味合いも兼ねての「地区別座談会」ではあります。今回は中止にともない、組合員の皆様に対しては、業務報告書の発送と合わせ「ご意見・ご質問書」を添え返信をいただく方法を取らせていただきます。

例年、議事進行前に座談会報告を行ってまいりましたが、今回は返信いただいた「ご意見・ご質問書」を集約し、回答を含め報告させていただきます。

さて、令和元年度を振り返ってみますと、平成から令和へと元号が変わり、1年余りが経過しました。当初は祝賀ムードが始まり、年が明ければオリンピック開催と期待されましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により未曾有の事態となりました。花卉農協の根幹であります福岡花市場と北九州花市場もこの影響をモロに受け、過去に例の無いほどの厳しい状況となりました。

新年度となつてからも、緊急事態宣言も発令され、感染拡大を防止するための移動制限と経済活動自粛要請により、大幅な景気後退と生活の困窮は避けられない状況です。

花き業界におきましても、販売高は前例の無い落ち込みとなりました。卒業式、入学式、ブライダル、葬儀、その他各種イベントの自粛により花きの消費は停滞し、福岡花市場と北九州花市場の両市場での販売も非常に苦戦を強いられました。

厳しい花きの現状に対し、国及び県、各地方自治体において様々な支援策も講じていただいておりますが、今後の生産・販売環境についての不安は拭えない状況であります。

このような状況下で、組合員皆様の意見を代弁すべく、花卉農協が所属する福岡県花卉園芸連合会より、日本花き生産協会、日本花き卸売市場協会を通じ、花き生産者を守るべく、意見陳情を行うとともに、最大の支援要請などを行いました。

一方、地元福岡県におきましては、地域の企業と共同で社員向けの花束販売による消費拡大イベントを実施しました。

更に、日本花き振興協議会を通じて、農水省の「国産農林水産物等販売促進緊急対策事業」に申請を行い、花き卸売市場における生販連携機会の創出事業を行っております。お近くの公共施設、商業施設等での花のディスプレイを見られた方もおられるのでは

ないでしょうか。

以上のように、組合員皆様のお役に立てるよう、出来ることから手立てを講じている状況ですが、花卉農協として一番大きな取り組みが遅れておりますことを、皆様にお詫び申し上げます。

昨年の総代会において承認をいただきました、次期販売システムの構築が完成しておらず、現在も急ピッチで作業を進めております。昨年度内での稼働を目指していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるシステム開発の遅れなどから、今後の予定としては、本年7月以降に基幹システムの稼働、9月末にはWeb販売のリニューアル、11月に在宅セリ稼働（福岡）を目前に現在、最大限の調整を行っております。

改正卸売市場法が6月21日から施行されることに伴い、仲卸による直荷引き、商物一致の廃止による産地から販売店への直送、市場間での荷の過不足解消などに対応するため、福岡花市場と北九州花市場の一元集荷、そして一元販売を実現させ、組合員皆様が安心して出荷、販売を任せられる地域の拠点市場としての機能を完成させます。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で、先行きが見通せない非常に厳しい状況ではありますが、花卉農協としての取り組みや基本方針につきましては、事業計画書に記載しております。重点目標を柱に、邁進いたします所存であります。今後もお支援とご協力をお願いいたします。

それでは、本日は、第1号議案から8号議案まで提出いたしましたので、慎重審議の程お願い致します。挨拶に代えさせていただきます。



総代会報告

令和2年6月20日(土)午前9時より、第31回福岡県花卉農協同組合通常総代会を開催いたしました。

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で、感染拡大防止のため、農水省・県庁・JA福岡中央会からの指導も受け、総代の皆様には書面議決書(議決権行使書)の提出をお願いしての開催となりました。

総代会当日の出席者は、総代数212名のうち、本人出席3名、これに議決権行使書152名を合わせて総計155名の出席となり、無事に総代会が成立いたしました。

本年の総代会議長は第6区の久留米地区にお願いして選出いただきました。そして、当花卉農協の理事から提出いただきました、第1号から第8号までの議案を審議いただき、すべての議案は賛成多数にて可決となりました。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響により、地区別座談会と総代会運営は例年と大きく違ったものとなりましたが、組合員皆様のご協力により、大きな問題も無く進めることが出来ました。

しかし、市場販売と組合運営につきましては大きな困難に直面しており、皆様から出荷いただいた花きの販売を如何にして伸ばすかを必死に考えて、手立てを講じております。

▲監事監査報告

通はそのスピードを増していきます。これに対応すべく、新しい販売システムの完成を急ぐとともに、本年度予算案に盛り込みました、購買事業を通じての組合員皆様への生産支援を推し進めてまいります。今後とも皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



▲議長の久富正彦氏

